【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】令和7年3月12日(2025.3.12)

【公開番号】特開2024-34683(P2024-34683A)
【公開日】令和6年3月13日(2024.3.13)
【年通号数】公開公報(特許)2024-047
【出願番号】特願2022-139095(P2022-139095)
【国際特許分類】
Ｃ１０Ｍ169/04(2006.01)
Ｃ１０Ｍ129/54(2006.01)
Ｃ１０Ｍ159/22(2006.01)
Ｃ１０Ｍ135/10(2006.01)
Ｃ１０Ｍ129/10(2006.01)
Ｃ１０Ｎ 40/25(2006.01)
Ｃ１０Ｎ 30/00(2006.01)
【ＦＩ】
Ｃ１０Ｍ169/04
Ｃ１０Ｍ129/54
Ｃ１０Ｍ159/22
Ｃ１０Ｍ135/10
Ｃ１０Ｍ129/10
Ｃ１０Ｎ 40:25
Ｃ１０Ｎ 30:00　　Ｂ

【手続補正書】
【提出日】令和7年3月4日(2025.3.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
ＡＳＴＭ　Ｄ５８００に準拠して、２５０℃、１時間の条件にて行ったＮＯＡＣＫ試験により測定されるＮＯＡＣＫ値が６質量％以下の基油（Ａ）と、
少なくともカルシウムサリシレート（Ｂ１）を含み、任意で、塩基価７０ｍｇＫＯＨ／ｇ以下の中性カルシウムスルホネート（Ｂ２）及びカルシウムフェネート（Ｂ３）から選ばれる１種以上を含み得る、カルシウム系清浄剤（Ｂ）と、を含有し、
カルシウム系清浄剤（Ｂ）のカルシウム原子換算での含有量（ｂ）に対する、中性カルシウムスルホネート（Ｂ２）のカルシウム原子換算の含有量（ｂ２）の比率［（ｂ２）／（ｂ）］が、０～０．４０であり、
カルシウム系清浄剤（Ｂ）のカルシウム原子換算での含有量（ｂ）に対する、カルシウムフェネート（Ｂ３）のカルシウム原子換算の含有量（ｂ３）の比率［（ｂ３）／（ｂ）］が、０～０．０２であり、
－２５℃におけるＣＣＳ粘度が７０００ｍＰａ・ｓ以下であり、
１５０℃におけるＨＴＨＳ粘度が２．９ｍＰａ・ｓ以上である、
水素を燃料として作動する内燃機関に用いられる、潤滑油組成物。
【請求項２】
さらに粘度指数向上剤（Ｃ）を含有し、粘度指数向上剤（Ｃ）の樹脂分換算での含有量

が、前記潤滑油組成物の全量基準で、０．４０質量％以下である、請求項１に記載の潤滑油組成物。
【請求項３】
ターボチャージャーを備え、水素を燃料として作動する内燃機関に用いられる、請求項１又は２に記載の潤滑油組成物。
【請求項４】
請求項１又は２に記載の潤滑油組成物を、水素を燃料として作動する内燃機関の潤滑に適用する、内燃機関の潤滑方法。
【請求項５】
前記内燃機関がターボチャージャーを備える、請求項４に記載の内燃機関の潤滑方法。